

年 報

平成25年版

福井県労働委員会

目 次

第1章 労働争議の調整

第1節 概況	1
第2節 争議行為予告一覧	3
第3節 事件の概要	4

第2章 個別的労使紛争のあっせん

第1節 概況	7
第2節 取扱事件一覧	8
第3節 事件の概要	9
第4節 個別的労使紛争に係る労働相談会の実施	11

第3章 不当労働行為の審査

第1節 概況	13
--------------	----

第4章 労働組合の資格審査

第1節 概況	15
--------------	----

第5章 地方公営企業等における非組合員の範囲の認定

第1節 概況	17
--------------	----

【参考資料】

1 年次別調整事件数一覧表	19
2 年次別個別あっせん事件数一覧表	20
3 年次別審査事件数一覧表	21
4 歴代委員名簿	23

第 1 章

労働争議の調整

第1章 労働争議の調整

第1節 概況

平成25年に新規に受け付けた調整事件は3件であった。

第1表 申請受付状況

年次	区分	受付総件数	左の内訳		
			あつせん	調停	仲裁
平成21年		2	2		
平成22年		1	1		
平成23年		0			
平成24年		2	2		
平成25年		3	3		

第2表 月別申請状況

年次	平成23年	平成24年	平成25年
1月			
2月			2
3月			
4月		1	
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			
10月		1	1
11月			
12月			
計	0	2	3

第3表 業種別申請状況

年次	平成23年	平成24年	平成25年
業種			
農林漁業			1
運輸業			1
卸売・小売業		1	
金融・保険業			1
サービス業		1	
計	0	2	3

第4表 従業員規模別申請状況

年次	平成23年	平成24年	平成25年
従業員			
10人未満		1	
10人～49人			2
50人～99人			1
100人～299人			
300人～499人			
500人以上		1	
計	0	2	3

第5表 調整事項別状況

年次		平成23年	平成24年	平成25年
調整事項	団体交渉			2
経営 または 人事	人員配置			
	配置転換			
	解雇		1	
	その他			
賃金等	一時金			
	退職一時金・年金		1	
	解雇手当			1
	その他			1
労働条件等				
その他				
計		0	2	4

(注) 申請事項が2項目以上の場合、調整事項数は申請件数と一致しない。

第6表 申請者別状況

年次		平成23年	平成24年	平成25年
申請者	一方(労または使)		2	3
	双方			
計		0	2	3

第7表 終結所要回数状況

年次		平成23年	平成24年	平成25年
所要回数	0回			1
	1回			2
	2回		2	
	3回			
	4回以上			
計			4	2
平均(回数)		—	2	0.7

第8表 終結所要日数状況

年次		平成23年	平成24年	平成25年
所要日数	10日以下			
	11日～30日			2
	31日～50日		1	
	51日～100日		1	1
	101日以上			
計			2	3
平均(日数)		—	54	32

第9表 処理状況

区分	年次	平成23年		平成24年		平成25年	
		繰越分	新規申請分	繰越分	新規申請分	繰越分	新規申請分
解決	案受諾						
	協定締結				1		1
	自主解決						
打ち切り				1			2
取下げ							
翌年へ繰越							
計		0		2		3	

第2節 争議行為予告一覧

(中労委受理分)

通 知 者	要求事項	受付月日	争議行為 予告月日	受 付 委 労 委	関 係 都道府県
国鉄労働組合	賃金引上等	2月 18日	3月 1日以降	中 労 委	46 都道府県
エヌ・ティ・ティ労働組合	年間一時金等	2月 26日	3月 11日以降	中 労 委	全 国
全日本建設交運一般労働 組合全国鉄道本部	賃金引上、労 働条件改善等	3月 1日	3月 14日以降	中 労 委	46 都道府県
全日本運輸産業労働組合 連合会	賃金引上、夏 期一時金等	3月 1日	3月 15日以降	中 労 委	全 国
健康保険病院労働組合	地域医療機能 推進機構移行 に向けての継 続雇用確保等	3月 5日	3月 18日以降	中 労 委	27 都道府県
日本私鉄労働組合総連合会	賃金引上、臨 時給（年間一 時金）等	3月 6日	3月 17日以降	中 労 委	全 国
全日本港湾労働組合	賃金引上、 定年延長等	3月 8日	3月 19日以降	中 労 委	25 都道府県
KDD I 労働組合	業績賞与（年 間一時金）等	3月 11日	3月 22日以降	中 労 委	46 都道府県
全日本運輸産業労働組合 連合会	一時金等	5月 31日	6月 14日以降	中 労 委	全 国
全日本港湾労働組合日本海 地方本部	夏期一時金等	6月 3日	6月 20日以降	新潟県労委 (經由労委)	6 府 県
健康保険病院労働組合	年末一時金等	9月 10日	9月 25日以降	中 労 委	27 都道府県
健康保険病院労働組合	地域医療機能 推進機構移行 に向けての継 続雇用確保等	9月 10日	9月 25日以降	中 労 委	27 都道府県
全日本港湾労働組合日本海 地方本部	冬期一時金 等	10月 28日	11月 19日以降	新潟県労委 (經由労委)	6 府 県
全日本運輸産業労働組合 連合会	年末一時金 等	11月 1日	11月 15日以降	中 労 委	全 国
日本私鉄労働組合総連合会	労使協議機 関の設置等	11月 13日	11月 24日以降	中 労 委	43 都道府県

第3節 事件の概要

25-1 解雇争議あっせん事件

平成25年 2月 1日 申請
平成25年 2月28日 打切り

〔申請者〕
Aユニオン

〔被申請者〕
X団体

〔あっせん事項〕

一方的な不当解雇についての撤回および組合員が退職に同意できる和解条件の確立

(1) あっせん員

交野 好子 (公)、井上 毅 (公)、牧野 恭英 (労)、田村 毅 (使)

(2) 主張の要点

(組 合)

1年契約で雇用されたにも関わらず、仕事がなくなったという理由で解雇となった。期間満了前の解雇なので、それ相当の保障があると思い、解雇を知らされた時は反論しなかった。職場では、これまでに組合員へのパワハラに近い行為や差別が幾度もあった。

退職に同意する和解条件として以下を要求

- ・会社都合退職
- ・解雇予告手当1か月相当分
- ・契約残存期間3か月分の賃金保障

(使用者)

法律改正の影響で、予想以上に業務が激減、当該組合員を含め、多くの雇用者が年度途中で辞めてもらうことになった。解雇予告通知書を組合員に渡す際、「不都合なら言ってくれ、撤回する。」と伝えたが、組合員から「解雇予告通知書はそちらが出したものだから絶対返さない。」と言われた。今回の組合からの要求事項については、働いていないのに賃金を払うことはできない。また、仕事上のミスややり直しは誰にでもあることで、これまで組合員を怒ったりしたことは一度もない。

(3) 申請までの経過

団体交渉を行ったが、進展がないため、組合はあっせんで申請した。

(4) あっせんの経過および結果

あっせんは2月28日に行われ、組合側は、組合員が職場に戻ることは考えられず、金銭解決しか望んでいない状況に対し、使用者側は、解決金としての支出は一切できない旨主張した。このため、双方の主張に隔たりが大きく、あっせんによる解決の見込みはないとして打切りとした。

(処理日数 28日、あっせん回数 1回)

25-2 団交促進争議あっせん事件

平成25年 2月19日 申請
平成25年 4月15日 解決

〔申請者〕

A労働組合B連合会
A〇〇労働組合

〔被申請者〕

株式会社X

〔あっせん事項〕

団体交渉応諾、平成24年年末一時金およびその他の要求に関する労使間の円満解決

(1) あっせん員

山川 均 (公)、湯川 勢津子 (公)、山崎 高明 (労)、村上 俊男 (使)

(2) 主張の要点

(組 合)

組合からの要求に対し、使用者側は、団体交渉に応じず文書で一方向的に回答。回答内容も納得いかない。再度団体交渉を会社側に申し入れたが、全く返答がない。不誠実極まりない対応である。

(使用者)

組合として意見がまとまっていない状態で要求を出しているようなので、組合で意見をまとめて具体的な要求を出してほしい。具体的な話がないと社長に上げられない。会社としては、話も聞かし、それに対する説明や資料の提示もするつもりである。

(3) 申請までの経過

組合側が会社側に数回に渡って団体交渉を申し入れるも、団体交渉が進まなかったため、組合はあっせんに申請した。

(4) あっせんの経過および結果

あっせんは、4月15日に行われ、以下のとおり協定書を締結して解決した。

協定書 (要旨)

1 労使双方は、平成24年11月19日の組合側から申し入れている団体交渉について、次のとおり行う。

① 期 限 平成25年5月31日 (金)

(交渉期日は事前に双方で調整するものとする)

② 場 所 株式会社X 〇〇本社

③ 出席者 組合側 A労働組合B連合会、A〇〇労働組合

(両組合は方針を統一して交渉に臨むこと)

会社側 代表取締役社長、担当者

2 労使双方は、今後とも誠意を持って問題の解決を図り、円滑な労使関係の確立に努める。

(処理日数 56日、あっせん回数 1回)

25-3 団交促進争議あっせん事件

平成25年10月24日 申請
平成25年11月 5日 打切り

〔申請者〕
A労働組合

〔被申請者〕
X会社

〔あっせん事項〕

団体交渉応諾、組合の要求事項に対してすべて弁護士に一任するという経営権の実質放棄状況の改善

(1) あっせん員

井上 毅 (公)、山岸 克司 (労)、清川 忠 (使)

(2) 主張の要点

(組 合)

地元雑誌に掲載された内容について、団体交渉の場で事実確認などを求めてきたが、会社側はまともに回答してこなかった。逆に雑誌に情報を漏らしたとして、組合役員に対する人権侵害行為が繰り返された。組合の団体交渉要求に対しては、直接顧問弁護士に聞いてほしいとの対応に終始している。

(使用者)

組合が求めている団体交渉の事項は、労働条件ではないため、団体交渉を行うつもりはない。組合役員の処分については、労働協約に基づき、組合と協議を行う予定である。

(3) 申請までの経過

組合側が会社側に数回に渡って団体交渉を申し入れるも、団体交渉が進まなかったため、組合はあっせんを申請した。

(4) あっせんの経過および結果

会社側が、あっせんに応じないため、打切りとした。

(処理日数 13日、あっせん回数 0回)

第 2 章

個別的労使紛争のあっせん

第2章 個別的労使紛争のあっせん

第1節 概況

平成25年中に新規に受け付けたあっせん申出件数は7件であった。

第1表 申出受付状況

区 分 年 次	受付件数			処理状況	
	前年繰越	本年新規	計	本年終結	翌年繰越
平成21年	1	10	11	10	1
平成22年	1	4	5	5	
平成23年		9	9	9	
平成24年		9	9	9	
平成25年		7	7	7	

第2表 月別申出状況（申出者別）

申出者 月	労働者	使用者	双 方	計
1 月		1		1
2 月				
3 月	1			1
4 月				
5 月	2			2
6 月	1			1
7 月				
8 月	1			1
9 月	1			1
10月				
11月				
12月				
計	6	1	0	7

第3表 申出事項別状況

	件 数
経営又は人事	4
賃 金 等	4
労働条件等	
職場の人間関係	3
そ の 他	
計	11

(注) 申出事項が2項目以上の場合、申出事項数は申出件数と一致しない。

経営又は人事：解雇、退職強要、配置転換、復職、懲戒処分、退職、人事考課、身分切換え、休職等
賃 金 等：賃金未払い、賃金減額、一時金、退職一時金、解雇手当、休業手当、諸手当、年金等
労働条件等：労働契約、労働時間、休日・休暇、時間外労働、福利厚生、社会保険、労働保険等
職場の人間関係：セクハラ、嫌がらせ
そ の 他：その他

第4表 処理状況

	件数
解決	1
打切り	5
取下げ	
不開始	1
翌年繰越	
計	7

第2節 取扱事件一覧

年	番号	事件名	業種	申出日	申出区分	終結日	処理日数	終結状況	あっせん員		
									公益	労働者	使用者
25	1	パワハラ確認事件	団体	25. 1. 8	使	25. 1. 9	2	不開始	—	—	—
25	2	解雇予告手当請求事件	建築業	25. 3. 10	労	25. 3. 18	9	打切り	—	—	—
25	3	補償金請求事件	飲食サービス業	25. 5. 10	労	25. 5. 15	6	打切り	—	—	—
25	4	退職金請求事件	染織業	25. 5. 23	労	25. 6. 4	13	打切り	—	—	—
25	5	転籍強要事件	自動車販売・修理	25. 6. 21	労	25. 7. 24	34	打切り	渡邊	矢野	本多
25	6	慰謝料等請求事件	製造業	25. 8. 1	労	25. 8. 5	5	打切り	—	—	—
25	7	退職承認要求事件	設計・メンテナンス業	25. 9. 27	労	25. 10. 9	13	自主解決(取下げ)	—	—	—

(注) 処理日数は申出日から終結日までの日数である。

平均処理日数 12日

第3節 事件の概要

平成25年（個）第1号 パワハラ確認事件

申出内容 関係者からパワハラを理由に職を辞するよう求められているので、労働委員会でパワハラではないという事実認定をしてほしい。

終結内容 申出内容が労働関係の紛争に該当せず、あっせんの対象とならないため、不開始とした。

平成25年（個）第2号 解雇予告手当請求事件

申出内容 会社から突然解雇を言い渡された。せめて試用期間のうち勤務に就けなかった日数分の賃金を保障してほしい。

終結内容 被申出者があっせんに応じないため、打切りとした。

平成25年（個）第3号 補償金請求事件

申出内容 上司の暴言により鬱気分となり退職に追い込まれた。精神的、経済的損害に対する補償金を支払ってほしい。

終結内容 被申出者があっせんに応じないため、打切りとした。

平成25年（個）第4号 退職金請求事件

申出内容 退職金規程があるにも関わらず、役員就任以後の勤続期間に対して退職金が支払われないのは納得がいかない。分割でもいいので支払ってほしい。

終結内容 被申出者があっせんに応じないため、打切りとした。

平成25年（個）第5号 転籍強要事件

申出内容 実質的には解雇となる転籍を命じられた。転籍理由の十分な説明と解雇によって失われた貰えるべき賃金、退職金の差額を支払ってほしい。

終結内容 提示したあっせん案に対し、両者が合意に至らなかったため、打切りとした。

平成25年（個）第6号 慰謝料等請求事件

申出内容 会社のパワハラ、セクハラで退職に追い込まれたので、謝罪、慰謝料、会社都合での退職、退職金の支払いを求めたい。

終結内容 被申出者があっせんに応じないため、打ち切りとした。

平成25年（個）第7号 退職承認要求事件

申出内容 規定にはない取引先への転職制限を無効とし、円満に退職させてほしい。

終結内容 退職が認められたため、取り下げた。

第4節 個別的労使紛争に係る労働相談会の実施

1 概況

職場における労使関係の諸問題に関する相談を受け付け、適切な助言・情報提供等を行い、あつせん制度の利用促進を図るとともに、当該制度を広く県民にアピールすることを目的として、労働相談会を実施した。相談件数は25件であった。

開催日	新規件数				内容					
	労働者	使用者	双方	計	経営または人事	賃金等	労働条件等	職場の人間関係	その他	計
25. 3. 3 (丹南)	7	0	0	7	0	2	2	2	1	7
25. 3. 10 (福井)	10	0	0	10	5	3	2	1	1	12
25. 10. 6 (丹南)	3	0	0	3	1	1	2	1	0	5
25. 10. 27 (福井)	5	0	0	5	0	1	2	2	1	6
計	25	0	0	25	6	7	8	6	3	30

(注) 相談内容が2項目以上の場合、相談件数と一致しない。

2 日程等

名称 「職場での悩みごと無料相談会」

① 第1回 (丹南会場)

- ・ 日時 平成25年3月3日(日) 午後1時30分～4時30分
- ・ 場所 越前市福祉健康センター(越前市)
- ・ 相談員 公益委員……山川、渡邊
労働者委員…吉田
使用者委員…黒田

② 第2回 (福井会場)

- ・ 日時 平成25年3月10日(日) 午後1時30分～4時30分
- ・ 場所 AOSSA(アオッサ)(福井市)
- ・ 相談員 公益委員……交野、湯川、井上
労働者委員…牧野、山崎
使用者委員…清川、村上
福井労働局…新田労働紛争調整官

③ 第3回 (丹南会場)

- ・ 日時 平成25年10月6日(日) 午後1時30分～4時30分
- ・ 場所 越前市福祉健康センター(越前市)
- ・ 相談員 公益委員……山川、湯川
労働者委員…吉田
使用者委員…田村

④ 第4回（福井会場）

- ・ 日 時 平成25年10月27日（日） 午後1時30分～4時30分
- ・ 場 所 AOSSA（アオッサ）（福井市）
- ・ 相談員 公益委員……交野、渡邊、井上
労働者委員…山岸、山崎
使用者委員…本多、黒田
福井労働局…井関企画室長補佐

第 3 章

不当労働行為の審査

第3章 不当労働行為の審査

第1節 概況

(1) 取扱件数の概要

平成25年中に係属した不当労働行為救済申立事件はなかった。

なお、最近の不当労働行為救済申立事件の取扱状況は、次表のとおりである。

状 況		21年	22年	23年	24年	25年	
係 属 状 況	前年からの繰越	0	1	0	0	0	
	新規申立	2	0	0	0	0	
	計	2	1	0	0	0	
	申立人	組 合					
		個 人	1				
		組 合 ・ 個 人	1				
	新 規 申 立	該 当 号	1				
			2				
			3	1			
			4				
			1 ・ 2				
			1 ・ 3				
			1 ・ 4				
			2 ・ 3				
2 ・ 4							
1 ・ 2 ・ 3			1				
1 ・ 2 ・ 4							
終 結 状 況	取 下 和 解	和 解 以 外 の 取 下		1			
		和 解	関 与				
			無 関 与				
	計		1				
	移 送						
命 令 ・ 決 定	命 令 ・ 決 定	全 部 救 済					
		一 部 救 済					
		棄 却	1				
		却 下					
		計	1				
終 結 計	1	1					
次 年 へ 繰 越	1	0	0	0	0		

(2) 審査期間の目標達成状況

①審査の目標期間

福井県労働委員会では、審査期間の目標を1年と定めている。

②所要日数

年 区 分	21年	22年	23年	24年	25年
100日未満		1			
100～299日	1				
300～499日					
500～699日					
700～999日					
1,000日以上					

第 4 章

労働組合の資格審査

第4章 労働組合の資格審査

第1節 概況

平成25年中の資格審査の申請は、労働者委員候補者推薦に係るものが1件あり、適合と決定した。

第2節 資格審査状況一覧

労働組合名	組合員数	目的	申請年月日	決定年月日	決定状況
電機連合福井村田製作所労働組合	2,961名	委員推薦	25. 1. 15	25. 1. 22	適合

※ 組合員数は、申請時現在

第 5 章

地方公営企業等における 非組合員の範囲の認定

第5章 地方公営企業等における非組合員の範囲の認定

第1節 概況

平成25年中の地方公営企業等における非組合員の範囲の認定はなかった。

参考資料

- 1 年次別調整事件数一覧表
- 2 年次別個別あつせん事件数一覧表
- 3 年次別審査事件数一覧表
- 4 歴代委員名簿

1 年次別調整事件数一覧表

年	取扱件数			申請状況			終結状況					次年繰越
	前年繰越	新規申請	計	あっせん	調停	仲裁	解決	不調	取下	打切	移行	
22年		5	5	5			5					
23年		15	15	13	2		13		1	1		
24年		17	17	14	3		15		2			
25年		21	21	20	1		19			1	1	
26年		11	11	10	1		8		1	2		
27年		18	18	18			12	1	4	1		
28年		14	14	14			6	2	6			
29年		13	13	13			9		4			
30年		18	18	18			12	2	4			
31年		9	9	8	1		9					
32年		26	26	25	1		10		13	2		1
33年	1	35	36	33	2		20		13	2		1
34年	1	55	56	54	1		37		18			1
35年	1	40	41	40			20		16	4		1
36年	1	34	35	34			25		8	2		
37年		30	30	28	2		27		2	1		
38年		46	46	45	1		42		1	2		1
39年	1	24	25	24			20		4	1		
40年		15	15	15			4		6	4		1
41年	1	13	14	13			7		2	4		1
42年	1	34	35	34			5		27	2		1
43年	1	8	9	8			4	1	2	2		
44年		9	9	9			5		2	2		
45年		26	26	26			5	2	13	4		2
46年	2	20	22	20			9		9	4		
47年		21	21	20	1		8	2	3	8		
48年		23	23	23			12		7	4		
49年		15	15	15			8		2	5		
50年		6	6	6			1		3	1		1
51年	1	5	6	4	1		3		1	1		1
52年	1	8	9	8			5	1	1	1		1
53年	1	6	7	6			5		1			1
54年	1	8	9	8			4			5		
55年		8	8	2	6		6		1	1		
56年		1	1	1					1			
57年			0									
58年			0									
59年		1	1	1					1			
60年		2	2	2					1	1		
61年		2	2	2			1					1
62年	1	1	2	1			1					1
63年	1	1	2	1			1			1		

年	取扱件数			申請状況			終結状況					次年繰越
	前年繰越	新規申請	計	あっせん	調停	仲裁	解決	不調	取下	打切	移行	
元年			0									
2年		2	2	2					1			1
3年	1		1						1			
4年			0									
5年		1	1	1					1			
6年			0									
7年		4	4	4			2		1			1
8年	1	2	3	2			1		1	1		
9年			0									
10年		2	2	2			2					
11年		1	1	1					1			
12年			0									
13年		1	1	1					1			
14年			0									
15年		1	1	1			1					
16年		1	1	1			1					
17年		1	1	1			1					
18年		4	4	4			2		1			1
19年	1	2	3	2			2					1
20年	1	2	3	2			1		1			1
21年	1	2	3	2			1		1	1		
22年		1	1	1			1					
23年			0									
24年		2	2	2			1			1		
25年		3	3	3			1			2		

2 年次別個別あっせん事件数一覧表

年	取扱件数			申出者別				終結状況					次年繰越
	前年繰越	新規申請	計	労働者	使用者	双方	計	解決	打切	取下	不開始	計	
14年		7	7	7			7	2	1	2		5	2
15年	2	13	15	13			13	4	5	6		15	
16年		6	6	6			6	3	2			5	1
17年	1	7	8	7			7	2	4	2		8	
18年		17	17	17			17	6	8	3		17	
19年		12	12	12			12	5	2	4		11	1
20年	1	11	12	10	1		11	4	6	1		11	1
21年	1	10	11	10			10	3	3	3	1	10	1
22年	1	4	5	4			4	3	2			5	
23年		9	9	9			9	5	3	1		9	
24年		9	9	8	1		9	4	5			9	
25年		7	7	6	1		7	1	5		1	7	

3 年次別審査事件数一覽表

年	取扱件数			終結状況					次年繰越
	前年繰越	新規申立	計	関与和解	無関与和解・取下	(一部)救済	棄却	却下	
22年		3	3		2				1
23年	1	2	3				1		2
24年	2	2	4	1			2	1	
25年		1	1		1				
26年		3	3	2	1				
27年		4	4	2					2
28年	2	3	5	3	2				
29年		5	5	4					1
30年	1	3	4	1	2	1			
31年		3	3	1	1	1			
32年		3	3		2				1
33年	1	5	6	3	3				
34年		5	5		5				
35年		2	2	1	1				
36年		1	1		1				
37年		1	1	1					
38年		3	3	1					2
39年	2		2		2				
40年		1	1						1
41年	1	2	3		1	2			
42年		2	2		1				1
43年	1	7	8	2	2	1	1		2
44年	2	6	8		3	1			4
45年	4	3	7	1	2	1			3
46年	3	1	4			2			2
47年	2	9	11	4	1				6
48年	6	1	7		2	2			3
49年	3	1	4	1	2	1			
50年		4	4		2				2
51年	2		2						2
52年	2	3	5	1					4
53年	4		4	1					3
54年	3		3	2					1
55年	1	1	2						2
56年	2	1	3	1					2
57年	2		2						2
58年	2		2						2
59年	2	2	4		2				2
60年	2		2	1					1
61年	1	1	2						2
62年	2	8	10		2				8
63年	8	2	10			2		1	7

年	取扱件数			終結状況					次年繰越
	前年繰越	新規申立	計	関与和解	無関与和解・取下	(一部)救済	棄却	却下	
元年	7		7		1	2	4		
2年			0						
3年			0						
4年			0						
5年			0						
6年		3	3		2				1
7年	1		1						1
8年	1		1						1
9年	1		1						1
10年	1	2	3		1				2
11年	2		2	1					1
12年	1		1			1			
13年			0						
14年			0						
15年			0						
16年			0						
17年		1	1						1
18年	1		1		1				
19年		1	1						1
20年	1		1			1			
21年		2	2				1		1
22年	1		1		1				
23年			0						
24年			0						
25年			0						

4 歴代委員名簿

◎会長 ○会長代理

期 別	期 間	第三者（公益）委員	労働者委員	使用者委員
第 1 期	昭 21. 2. 13～昭 22. 1. 26	土 生 滋 穂 宇 野 泰 三 ○山 川 登 ◎藤 井 剛 士 酒 井 利 一	片 山 正 志 小 辻 千 太 郎 荒 井 弥 次 兵 衛 齊 木 誠 一	巨 椋 初 蔵 黒 川 誠 三 郎 久 保 義 隆 熊 谷 義 太 三 郎 佐 伯 光 太 郎
第 2 期	昭 22. 1. 27～昭 23. 1. 26	◎土 生 専 平 千 田 滋 穂 (22. 5. 15 退任) 齊 藤 実 吉 ○松 永 藤 吉 加 藤 茂 樹 勝 田 清 (22. 7. 2 就任)	熊 谷 与 三 吉 前 島 申 孝 大 谷 川 源 七 若 杉 一 志	山 田 仙 之 助 伊 藤 義 朗 竹 下 勘 右 衛 門 上 坂 勘 一 木 俣 彰 一 加 藤 尚 (22. 6. 16 就任)
第 3 期	昭 23. 1. 27～昭 24. 4. 9	○加 藤 茂 樹 杉 原 丈 夫 ◎千 田 専 平 内 藤 哲 応 土 生 滋 穂	大 谷 巖 玉 川 安 平 中 川 祐 一 新 田 秀 雄 山 田 成 一	有 馬 義 夫 (23. 4. 13 就任) 三 谷 進 (23. 6. 27 就任) 伊 藤 義 朗 佐々木 甚 兵 衛 滝 波 清 辻 忠 夫 (23. 5. 21 退任) 木 俣 彰 一 (23. 3. 23 退任)
第 4 期	昭 24. 4. 10～昭 25. 4. 29	○加 藤 茂 樹 田 賀 寛 一 ◎内 藤 哲 応 佐 藤 恕 一 真 田 幸 雄	新 田 秀 雄 大 和 功 大 倉 充 中 川 祐 一 牧 野 初 幸	滝 波 清 小 西 忠 有 馬 義 夫 佐々木 甚 兵 衛 洸 谷 純 一
第 5 期	昭 25. 4. 30～昭 26. 5. 31	岡 田 清 治 ◎真 田 幸 雄 田 賀 寛 一 ◎内 藤 哲 応 御 堂 河 内 四 市	坪 内 才 次 郎 中 川 祐 一 河 野 一 馬 (26. 2. 1 就任) 吉 田 俊 勝 (26. 2. 1 就任) 万 谷 義 雄 藤 野 千 吉 (26. 1. 31 退任) 吉 村 清 高 (26. 1. 31 退任)	巨 椋 初 蔵 柿 本 一 雄 塩 田 隆 太 郎 洸 谷 純 一 滝 波 清
第 6 期	昭 26. 6. 1～昭 27. 6. 9	◎真 田 幸 雄 ○岡 田 清 治 飯 田 彦 太 郎 安 田 き み 宮 崎 茂	馬 路 勤 中 島 優 治 南 部 智 河 野 一 馬 木 部 喜 三 郎	巨 椋 初 蔵 柿 本 一 雄 滝 波 清 黒 川 誠 一 松 村 宇 市
第 7 期	昭 27. 6. 10～昭 28. 10. 6	◎真 田 幸 雄 ○加 藤 茂 樹 岡 田 清 治 野 上 実 一 品 川 一 雄	馬 路 勤 堀 内 正 二 中 島 優 治 河 野 一 馬 水 野 鉦 六	西 野 弘 巨 椋 初 蔵 高 橋 正 清 滝 波 清 福 島 文 右 衛 門
第 8 期	昭 28. 10. 7～昭 29. 10. 31	◎真 田 幸 雄 ○加 藤 茂 樹 岡 田 清 治 田 賀 寛 一 野 上 実 一	戸 枝 一 男 万 谷 義 雄 中 島 優 治 内 山 実 一 水 野 鉦 六	池 田 秀 二 西 野 弘 巨 椋 初 蔵 高 橋 正 福 島 文 右 衛 門

期 別	期 間	公 益 委 員	労働者委員	使用者委員
第 9 期	昭 29. 11. 1～昭 30. 11. 30	◎真 田 幸 雄 ○加 藤 茂 樹 岡 田 清 治 田 賀 寛 一 野 上 実	風 間 喜 一 郎 万 谷 義 雄 田 畑 政 一 郎 中 島 優 治 牧 野 初 幸	池 田 秀 二 西 野 弘 谷 他 吉 高 橋 正 福 島 文 右 工 門
第 10 期	昭 30. 12. 1～昭 31. 11. 30	◎真 田 幸 雄 ○加 藤 茂 樹 岡 田 清 治 田 賀 寛 一 野 上 実	万 谷 義 雄 椿 野 半 三 郎 中 島 優 治 野 田 義 夫 牧 野 初 幸	池 田 秀 二 西 野 弘 大 柳 隆 一 高 橋 正 福 島 文 右 工 門
第 11 期	昭 31. 12. 1～昭 32. 12. 19	◎真 田 幸 雄 ○加 藤 茂 樹 岡 田 清 治 大 月 明 川 端 才 市 (32. 3. 31 退任) 中 川 平 太 夫 (32. 4. 24 就任)	乾 繁 雄 万 谷 義 雄 椿 野 半 三 郎 中 島 優 治 牧 野 初 幸	鳩 沢 豊 三 大 柳 隆 一 柿 本 一 雄 高 橋 正 木 津 群 平 (32. 2. 28 退任) 鈴 木 弘 (32. 4. 24 就任)
第 12 期	昭 32. 12. 20～昭 34. 1. 31	◎加 藤 茂 樹 ○岡 田 清 治 窪 田 彦 左 工 門 坂 本 豊 平 田 一 郎	乾 繁 雄 万 谷 義 雄 椿 野 半 三 郎 中 島 優 治 牧 野 初 幸	鳩 沢 豊 三 大 柳 隆 一 柿 本 一 雄 高 橋 正 鈴 木 弘
第 13 期	昭 34. 2. 1～昭 35. 2. 28	◎加 藤 茂 樹 ○岡 田 清 治 吉 田 耕 三 窪 田 彦 左 工 門 松 宮 武 一	乾 繁 雄 万 谷 義 雄 中 島 優 治 牧 野 初 幸 佐 藤 元 美	鳩 沢 豊 三 大 柳 隆 一 柿 本 一 雄 高 橋 正 鈴 木 弘
第 14 期	昭 35. 3. 1～昭 36. 2. 28	◎加 藤 茂 樹 ○岡 田 清 治 吉 田 耕 三 (35. 5. 31 退任) 吉 村 義 一 中 川 平 太 夫 久 末 直 二 (35. 6. 1 就任)	乾 繁 雄 中 島 優 治 久 保 末 義 佐 藤 元 美 北 村 清	五十嵐 等 鳩 沢 豊 三 大 柳 隆 一 高 橋 正 鈴 木 弘
第 15 期	昭 36. 3. 1～昭 37. 3. 28	◎加 藤 茂 樹 ○久 末 直 二 中 川 平 太 夫 窪 田 彦 左 工 門 有 田 三 樹 男	岩 佐 零 二 田 畑 政 一 郎 中 島 優 治 福 岡 三 太 郎 佐 藤 元 美	五十嵐 等 鳩 沢 豊 三 西 畑 緑 雲 加 藤 一 雄 (36. 7. 31 退任) 鈴 木 弘 高 橋 正 (36. 8. 1 就任)
第 16 期	昭 37. 3. 29～昭 38. 5. 19	◎加 藤 茂 樹 ○久 末 直 二 中 川 平 太 夫 宇 野 友 八 有 田 三 樹 男	岩 佐 零 二 中 島 優 治 福 岡 三 太 郎 小 林 喜 治 佐 藤 元 美 (38. 4. 20 退任)	五十嵐 等 高 橋 正 信 寺 腰 正 多 末 広 一 鈴 木 弘
第 17 期	昭 38. 5. 20～昭 39. 5. 31	◎加 藤 茂 樹 ○久 末 直 二 中 川 平 太 夫 宇 野 友 八 有 田 三 樹 男	岩 佐 零 二 二 宮 正 文 中 島 優 治 (39. 4. 1 退任) (39. 5. 20 就任) 福 岡 三 太 郎 小 林 喜 治	綿 谷 清 一 河 村 静 観 寺 腰 正 信 鈴 木 弘 末 広 多 一

期 別	期 間	公 益 委 員	労働者委員	使用者委員
第 18 期	昭 39. 6. 1～昭 40. 10. 11	◎加 藤 茂 樹 ○久 末 直 二 中 川 平太夫 宇 野 友 八 有 田 三樹男	岩 佐 零 二 小 林 喜 治 二 宮 正 文 野 付 利 之 (40. 1. 31 退任) 福 岡 三太郎 (39. 12. 23 退任) 南 光 訓 一 (40. 3. 24 就任) 北 村 清 (40. 3. 24 就任)	河 村 静 観 勝 倉 博 嗣 鈴 木 弘 寺 腰 正 信 山 下 弥三次
第 19 期	昭 40. 10. 12～昭 43. 3. 17	◎加 藤 茂 樹 ○井 田 英 彦 宇 野 友 八 岡 崎 秀 吉 田 勇	北 村 清 南 光 訓 一 宮 下 実 山 崎 秋 雄 藤 本 武 士	鈴 木 弘 寺 腰 正 信 勝 倉 博 嗣 山 下 弥三次 藤 井 猛 雄
第 20 期	昭 43. 3. 18～昭 46. 10. 31	◎加 藤 茂 樹 ○井 田 英 彦 宇 野 友 八 岡 崎 秀 藤 井 弘 (44. 7. 31 退任) 藤 田 善 男 (44. 11. 25 就任)	南 光 訓 一 (44. 3. 31 退任) 藤 本 武 士 (44. 4. 15 退任) 山 下 太 一 木 曾 市 好 山 本 清 田 畑 政 一 郎 (44. 4. 21 就任) 齐 藤 富 雄 (44. 4. 21 就任)	鈴 木 弘 勝 倉 博 嗣 山 下 弥三次 藤 井 猛 雄 (44. 7. 31 退任) 池 田 重 親 三 谷 政 敏 (44. 9. 4 就任)
第 21 期	昭 46. 11. 1～昭 48. 11. 8	◎加 藤 茂 樹 ○井 田 英 彦 藤 田 善 男 岡 本 秀 雄 内 角 誠 一	山 本 清 田 畑 政 一 郎 (47. 10. 31 退任) 横 手 文 雄 高 橋 秀 雄 河 合 八 郎 (47. 10. 31 退任) 小 鍛 治 実 (47. 11. 1 就任) 牧 野 正 (47. 11. 1 就任)	鈴 木 弘 勝 倉 博 嗣 山 下 弥三次 池 田 重 親 三 谷 政 敏
第 22 期	昭 48. 11. 9～昭 50. 11. 30	◎加 藤 茂 樹 ○井 田 英 彦 藤 田 善 男 岡 本 秀 雄 石 本 理	横 手 文 雄 高 橋 秀 雄 小 鍛 治 実 牧 野 正 (49. 11. 5 退任) 河 合 八 郎 (49. 6. 24 退任) 橋 本 俊 三 (49. 7. 1 就任) (49. 11. 5 退任) 岩 佐 零 二 (49. 11. 11 就任) 小 林 優 (49. 11. 11 就任)	鈴 木 弘 勝 倉 博 嗣 山 下 弥三次 池 田 重 親 三 谷 政 敏

期 別	期 間	公 益 委 員	労働者委員	使用者委員
第23期	昭50.12.1～昭52.12.31	◎加藤 茂 樹 ○橋本 大 三 石本 理 一瀬 繁 治 夫 永谷 良 夫	高橋 秀 雄 岩佐 零 二 小林 優 川瀬 馨 (51.11.30 退任) 橋本 俊 三 石田 等 (51.12.1 就任)	鈴木 弘 勝倉 博 嗣 山下 弥三次 池田 重 親 三谷 政 敏
第24期	昭53.1.1～昭55.1.31	◎加藤 茂 樹 ○橋本 大 三 石本 理 一瀬 繁 治 夫 永谷 良 夫 (54.7.28 退任)	小林 優 橋本 俊 三 石田 等 横手 文 雄 (54.9.14 退任) 田部 雅 敏 (53.12.31 退任) 岩佐 零 二 (54.1.1 就任)	鈴木 弘 勝倉 博 嗣 山下 弥三次 池田 重 親 三谷 政 敏
第25期	昭55.2.1～昭57.4.8	◎橋本 大 三 ○石本 理 上野 繁 三 (55.9.30 退任) 石黒 内 匠 谷内 文 雄 夫 高岸 卓 夫 (55.12.1 就任)	小林 優 橋本 俊 三 石田 等 神谷 正 保 田部 雅 敏 (56.1.31 退任) 大柳 登 (56.2.1 就任)	勝倉 博 嗣 山下 弥三次 池田 重 親 三谷 政 敏 山本 守 男
第26期	昭57.4.9～昭59.4.11	◎石本 理 ○木村 甚左衛門 石黒 内 匠 谷内 文 雄 夫 高岸 卓 夫	小林 優 (58.6.2 退任) 橋本 俊 三 石田 等 神谷 正 保 (58.3.31 退任) 大柳 登 (58.4.1 就任) 伊藤 実 (58.8.10 就任) (59.4.11 退任) 畠中 孝	勝倉 博 嗣 山下 弥三次 (58.3.25 退任) 三谷 政 敏 山本 守 男 酒井 一 之 (58.8.31 退任) 富永 幸 司 (58.7.25 就任) 竹沢 秀 勝 (58.9.10 就任)
第27期	昭59.4.12～昭61.5.8	◎石本 理 ○木村 甚左衛門 石黒 内 匠 谷内 文 雄 夫 高岸 卓 夫	橋本 俊 三 石田 等 畠中 孝 (60.4.11 退任) 大柳 登 神谷 正 保 (59.10.31 退任) 岸 昭 夫 (59.11.1 就任) 伊藤 実 (60.4.12 就任)	勝倉 博 嗣 三谷 政 敏 山本 守 男 富永 幸 司 竹沢 秀 勝
第28期	昭61.5.9～昭63.5.8	◎石本 理 ○木村 甚左衛門 石黒 内 匠 谷内 文 雄 夫 高岸 卓 夫	橋本 俊 三 石田 等 大柳 登 岸 昭 夫 秋田 征 雄 (62.6.15 退任) 龍田 清 成 (62.6.16 就任)	勝倉 博 嗣 三谷 政 敏 富永 幸 司 竹沢 秀 勝 斎藤 慶 四郎

期 別	期 間	公 益 委 員	労働者委員	使用者委員
第29期	昭63. 5. 9～平2. 5. 8	◎石 本 理 ○石 黒 内 匠 谷 内 文 雄 藤 澤 清 小酒井 彬 恵	橋 本 俊 三 小 林 優 大 柳 登 龍 田 清 成 佐々木 哲 男	勝 倉 博 嗣 三 谷 政 敏 富 永 幸 司 竹 沢 秀 勝 斎 藤 慶 四 郎
第30期	平2. 5. 9～平4. 5. 10	◎石 本 理 ○藤 澤 清 谷 内 文 雄 小酒井 彬 恵 伊 藤 武 夫	大 柳 登 龍 田 清 成 佐々木 哲 男 (3. 3.26 退任) 中 野 信 夫 牧 野 憲 司 (2.10.30 退任) 森 田 則 夫 (2.12.10 就任) 浅 山 卓 司 (3. 5.10 就任)	勝 倉 博 嗣 富 永 幸 司 斎 藤 慶 四 郎 金 子 悌 三 郎 笹 原 誠
第31期	平4. 5.11～平6. 5.11	◎石 本 理 ○藤 澤 清 谷 内 文 雄 小酒井 彬 恵 伊 藤 武 夫	龍 田 清 成 (4. 7. 7 退任) (4. 8.20 就任) 中 野 信 夫 (5. 8.19 退任) 森 田 則 夫 中 田 定 男 安 念 諫 石 山 勇 夫 (5.10.12 就任)	勝 倉 博 嗣 富 永 幸 司 斎 藤 慶 四 郎 金 子 悌 三 郎 笹 原 誠
第32期	平6. 5.12～平8. 5.12	◎石 本 理 ○藤 澤 清 谷 内 文 雄 (8. 3.31 退任) 小酒井 彬 恵 伊 藤 武 夫	龍 田 清 成 森 田 則 夫 中 田 定 男 安 念 諫 石 山 勇 夫	富 永 幸 司 斎 藤 慶 四 郎 金 子 悌 三 郎 浦 瀬 信 隆 笹 原 誠
第33期	平8. 5.13～平10. 5.12	◎石 本 理 ○藤 澤 清 小酒井 彬 恵 伊 藤 武 夫 野 村 直 之	龍 田 清 成 森 田 則 夫 中 田 定 男 安 念 諫 石 山 勇 夫 (9. 6.30 退任) 山 岸 克 司 (9. 9. 2 就任)	富 永 幸 司 斎 藤 慶 四 郎 金 子 悌 三 郎 浦 瀬 信 隆 笹 原 誠 (9. 9.30 退任) 高 佐 和 弘 (9.10. 7 就任)
第34期	平10. 5. 13～平12. 5.16	◎石 本 理 ○藤 澤 清 小酒井 彬 恵 伊 藤 武 夫 野 村 直 之	龍 田 清 成 森 田 則 夫 中 田 定 男 安 念 諫 山 岸 克 司	富 永 幸 司 斎 藤 慶 四 郎 金 子 悌 三 郎 浦 瀬 信 隆 高 佐 和 弘
第35期	平12. 5.17～平14. 5.19	◎石 本 理 ○藤 澤 清 小酒井 彬 恵 伊 藤 武 夫 野 村 直 之	森 田 則 夫 安 念 諫 (13.10.31 退任) 山 岸 克 司 荒 谷 一 井 福 田 正 人 吉 田 哲 夫 (13.12.19 就任)	富 永 幸 司 浦 瀬 信 隆 高 佐 和 弘 米 澤 賢 治 間 洩 惟 夫

期 別	期 間	公 益 委 員	労働者委員	使用者委員
第 36 期	平 14. 5. 20～平 16. 5. 25	◎野 村 直 之 ○小酒井 彬 恵 (14. 9. 20 退任) ○竹 内 規 浩 (会長代理 14. 10. 22 就任) 北 川 恭 子 円 居 愛一郎 高 田 洋 子 (14. 12. 17 就任)	森 田 則 夫 (15. 10. 31 退任) 山 岸 克 司 (15. 10. 31 退任) 荒 谷 一 井 (15. 10. 31 退任) 福 田 正 人 吉 田 哲 夫 坪 内 佳 久 (15. 12. 12 就任) 馬 場 修 一 (15. 12. 12 就任) 中 村 俊 哉 (15. 12. 12 就任)	浦 瀬 信 隆 高 佐 和 弘 米 澤 賢 治 間 渕 惟 夫 (15. 6. 30 退任) 清 川 忠 本 多 惠 公 (15. 8. 21 就任)
第 37 期	平 16. 5. 26～平 18. 5. 25	◎野 村 直 之 ○竹 内 規 浩 北 川 恭 子 円 居 愛一郎 高 田 洋 子	福 田 正 人 吉 田 哲 夫 坪 内 佳 久 馬 場 修 一 (16. 10. 31 退任) 中 村 俊 哉 松 本 昌 三 (17. 1. 13 就任)	高 佐 和 弘 (16. 6. 16 退任) 米 澤 賢 治 清 川 忠 本 多 惠 公 梶 本 知 暉 鈴 木 健 蔵 (16. 7. 1 就任)
第 38 期	平 18. 5. 26～平 20. 5. 25	◎野 村 直 之 ○円 居 愛一郎 高 田 洋 子 湯 川 勢 津子 中 山 義 壽	福 田 正 人 (18. 8. 31 退任) 吉 田 哲 夫 坪 内 佳 久 (19. 10. 31 退任) 中 村 俊 哉 (19. 10. 31 退任) 松 本 昌 三 (18. 10. 31 退任) 朝 倉 明 哉 (18. 11. 1 就任) 宮 崎 伸 介 (18. 12. 26 就任) 山 岸 克 司 (19. 12. 25 就任) 田 中 一 (19. 12. 25 就任)	米 澤 賢 治 清 川 忠 本 多 惠 公 梶 本 知 暉 鈴 木 健 蔵 (19. 5. 31 退任) 坪 田 雅 一 (19. 8. 9 就任)
第 39 期	平 20. 5. 26～平 22. 5. 25	◎中 山 義 壽 ○高 田 洋 子 円 居 愛一郎 湯 川 勢 津子 山 川 均	吉 田 哲 夫 山 岸 克 司 宮 崎 伸 介 朝 倉 明 哉 (20. 8. 31 退任) 田 中 一 牧 野 恭 英 (20. 11. 4 就任)	米 澤 賢 治 清 川 忠 本 多 惠 公 坪 田 雅 一 黒 田 一 郎
第 40 期	平 22. 5. 26～平 24. 5. 25	◎中 山 義 壽 ○山 川 均 円 居 愛一郎 湯 川 勢 津子 交 野 好 子	山 岸 克 司 宮 崎 伸 介 (22. 9. 30 退任) 田 中 一 牧 野 恭 英 吉 田 啓 三 山 崎 高 明 (23. 1. 21 就任)	清 川 忠 本 多 惠 公 坪 田 雅 一 (23. 6. 15 退任) 黒 田 一 郎 田 村 毅 村 上 俊 男 (23. 8. 10 就任)

期 別	期 間	公 益 委 員	勞 働 者 委 員	使 用 者 委 員
第 41 期	平 24. 5. 26～平 26. 5. 25	◎山 川 均 ○交 野 好 子 湯 川 勢 津 子 渡 邊 一 成 井 上 毅	山 岸 克 司 田 中 一 (24. 12. 31 退任) 牧 野 恭 英 吉 田 啓 三 山 崎 高 明 矢 野 義 和 (25. 2. 26 就任)	清 川 忠 本 多 惠 公 黒 田 一 郎 田 村 毅 村 上 俊 男 (25. 9. 30 退任) 峠 岡 伸 行 (25. 11. 18 就任)

福井県労働委員会年報（平成25年版）

平成26年3月31日 印刷
平成26年3月31日 発行

編集・発行
福井県労働委員会事務局

福井県大手3丁目17番1号
TEL (0776) 20-0597

URL <http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/roudouinkaijimukyoku/>



健康長寿の福井

福 井 県 労 働 委 員 会

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

TEL 0776-20-0597